

令和5年度 情報活用 シラバス

| | | | |
|-------|---|-----|-----|
| 科目名 | 情報活用 | 教科名 | 情報 |
| 学年 | 3年 | 単位数 | 2単位 |
| 使用教科書 | 「日本語ワープロ検定試験模擬問題集」(日本情報処理検定協会) 「文書デザイン検定試験模擬問題集」(日本情報処理検定協会) | | |

| | | |
|----|----|--|
| 校長 | 教頭 | |
| | | |

1. 学習の到達目標

情報を整理し、文字の大きさ、フォントの選び方を工夫したり、簡単な図形を使ったりしてわかりやすく表現する力を身につける。

2. 評価の観点及び評価基準

| ア. 関心・意欲・態度 | イ. 思考・判断・表現 | ウ. 技能 | エ. 知識・理解 |
|---|--|---|--|
| 分掌を図解化した表現に加工することができる。また、分掌を図や概略図などを用いて、相手に分かりやすい図解表現をすることができる。 | 図解かなどを用いて分かりやすい表現ができる。また、情報の受け手を意識しており、表現方法に工夫が見られる。 | 情報を整理し、ソフトウェアを用いてまとめることができる。また、情報を適切に整理することが出来、分かりやすい図解化ができる。 | 文章を整理し、図解化することで、受け手にとって、分かりやすい表現になることが理解できる。 |
| 具体例 | 具体例 | 具体例 | 具体例 |
| 出席状況、提出物、平常の学習活動、学習態度 | 授業中の発言内容 プリント課題、定期考査 | 課題等の提出物 実技課題 | 課題等の提出物 定期考査 |

3. 観点別学習状況の評価の数量化

| 評価 | 内容 | 判定基準 | 得点 |
|----|-------------------|--------|----|
| A | 十分に理解できると判断できるもの | 80%以上 | 3 |
| B | おおむね満足できると判断できるもの | 50~70% | 2 |
| C | 努力を要すると判断されるもの | 50%未満 | 1 |

4. 各楽器および学年の評価方法

| 評価内容 | 100点法 | 5段階評価 |
|------------------------------|--------|-------|
| 十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの | 80~100 | 5 |
| 十分に満足できると判断されるもの | 65~79 | 4 |
| おおむね満足できると判断されるもの | 50~64 | 3 |
| 努力を要すると判断されるもの | 35~49 | 2 |
| 努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの | 0~34 | 1 |

5. 年間学習指導計画

| 月 | 単元 | 指導内容 | 備考 | 配当 |
|----------|--|--|-----------------------------|----|
| 4 | マナーについて パソコン操作の基礎 文字や数値の入力 (キートレーニング) | パソコン使用の注意点 1. コンピュータ室でのマナー 2. PC の起動・終了・入力装置の操作 3. OS のウインドウ、ファイル管理 4. キートレーニングの基礎 5. 文章の入力、訂正 6. ひらがな、カタカナの入力 7. 単漢字変換書式変更 | | 6 |
| 5 | 文書デザイン検定試験 (3 級対策) Word の基礎知識 Word の活用 Word の機能 | 1. Word の起動と終了 2. Word の入力の基礎 3. 画像・表の挿入と配置 4. 表の加工 | 3 級知識習得 | 6 |
| 6 | 文書デザイン検定試験 (2 級) 対策 Word の応用知識 | 1. 文字の加工 (ルビ・文字色等) 2. 図形内の文字入力 3. 図形の加工 4. 図形の書式設定 5. 表の加工 | 3 級知識習得 | 8 |
| 7 | 学期のまとめ | 1 学期のまとめ、テスト、評価 | | 6 |
| 9 | 日本語ワープロ検定試験 (3 級対策) | 1. 文字の入力 2. 文字の体裁 3. 文書校正・配置 | ビジネス文書 速度 10 分 300 文字 | 8 |
| 10 11 | 日本語ワープロ検定試験 (準 2 級対策) | 1. 文字の入力 2. 文字の体裁 3. 文書校正・配置 | ビジネス文書 速度 10 分 400 文字 | 14 |
| 12 1 | 文書デザイン検定試験 (1 級) 対策 | 1. 演習問題 2. 過去問題 | | 12 |
| 2 3 | 日本語ワープロ検定試験 (2 級対策) 学期のまとめ | 1. 演習問題 2. 過去問題 | | 10 |
| 年間総授業時間数 | | | | 70 |
| 評価方法 | 観点別評価 (定期考査、実技課題、授業態度、出席状況等) を総合的に判断して評価する。 | | | |